



〒488-0883 尾張旭市城山町長池下4517番地1
TEL 0561-52-1850 FAX 0561-52-1851



9月の観望天体

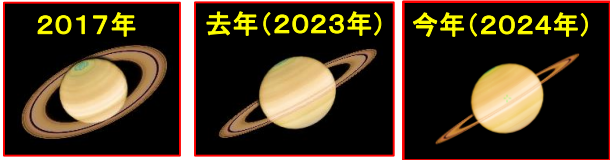
土星のリングが細くなって見えなくなる？

宵空に土星が見られるようになりました。土星は太陽系第6番目の惑星で、美しいリングを持っています。夜間天体観望会でも人気の星です。

しかし、今年の土星は皆さんが思っている姿と少し違うかもしれません。天体望遠鏡でのぞいてもリングが細くてよく観察できません。

土星のリングは毎年少しずつ傾きが変わり、見え方が変化します。これは土星の自転軸が26.7度傾いたまま太陽の周りを約29年で公転しているためです。地球からはさまざまな角度でリングを観察することができます。15年に一度は地球から見てリングが真横になるため、リングが見えにくくなることがあります。2017年に傾きがもっとも大きくなりました。来年2025年には真横を向きます。

今年の土星のリングを天体望遠鏡で見てみましょう。



9月の夜間観望会 日曜日 19:00~20:00

※夜間観望会は「スカイワードあさひ星の会」が運営します。
※小中学生は保護者と一緒に来てください。
※天候や機器の整備等で中止する場合があります。
スカイワードあさひに16時以降にお問い合わせください。

開催日	主な観望天体
1日	M57、アルビレオ、ダブルダブルスター など M57はリング状のガス星雲。ドーナツのように見えます。
8日	月齢5の月、土星、M57、アルビレオ など 美しいリングをもった惑星、土星が東の空に昇ってきます。
15日	月齢12の月、土星、アルビレオ など 今年の土星はリングの傾きが小さく、細くなっています。
22日	土星、ケフェウス座δ(デルタ)星、 カシオペア座η(イータ)星 など ケフェウス座デルタ星、カシオペア座イータ星は二重星です。

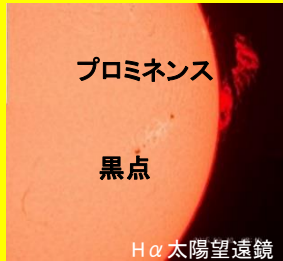
9月の太陽観望会



黒点やプロミネンスなどの太陽活動をHαフィルター太陽観測専用望遠鏡で観察しましょう。

火・土・日曜日、祝日
10日(火)、17日(火)、24日(火)は休み

10:00~12:00
13:00~15:00



Hα太陽望遠鏡

※29日は第5日曜日のため開催しません。

9月の星空

土星を観望しましょう

2024年9月15日 午後7時

9月の惑星

- 水星 明け方の東の空
- 金星 夕方の西の空
- 火星 明け方の東の空
- 木星 明け方の東の空
- 土星 宵の東の空
- 天王星 明け方の東の空
- 海王星 宵の東の空

水星は9月5日に西方最大離角となり、明け方の東天に見られます。9月30日には外合します。

金星は「宵の明星」として西の空低く輝いています。

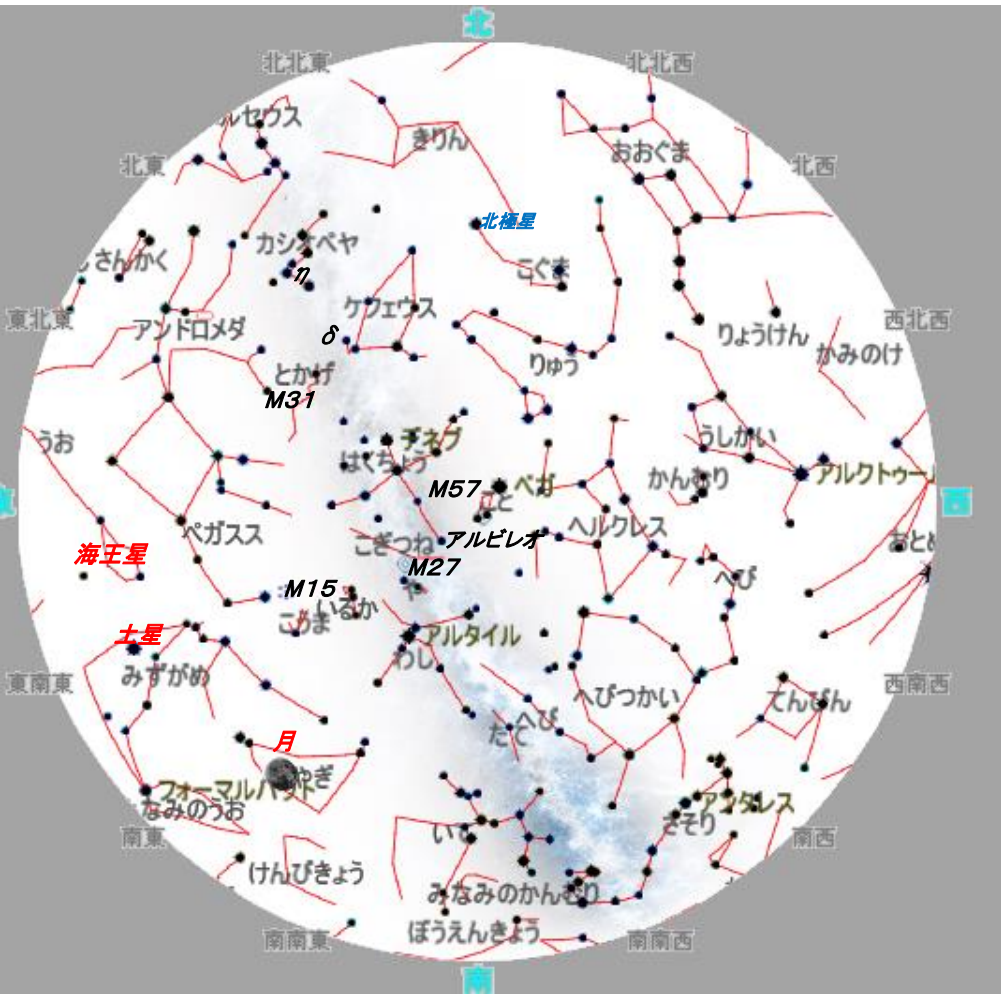
火星は明け方の東天で木星と並んでいます。

木星は9月10日に西矩となり、真夜中に東の空に上ってきます。

土星は9月9日に衝となり、宵には東の空に輝いて観望期に入ります。

天王星は真夜中に上ってきます。

海王星は9月21日に衝となり、夜中には南の空で見ごろを迎えます。



日	曜	月齢	9月の主な天文現象
1	日	28.0	満月 
2	月	29.0	
3	火	0.4	
4	水	1.4	
5	木	2.4	水星が西方最大離角
6	金	3.4	
7	土	4.4	(白露)
8	日	5.4	地球と惑星の位置 合とは、惑星が地球から見て太陽と同じ方向にあるときです。内惑星(水星・金星)は太陽の前にあるときが内合、太陽にかくされたときは外合といいます。 衝とは、外惑星(火星・木星・土星・天王星・海王星)が太陽の反対方向にあるときです。 矩とは、外惑星が太陽の東または西90度の位置です。 最大離角は、内惑星が太陽から東または西へもっとも離れたときです。
9	月	6.4	
10	火	7.4	
11	水	8.4	上弦の月
12	木	9.4	
13	金	10.4	
14	土	11.4	
15	日	12.4	

日	曜	月齢	9月の主な天文現象
16	月	13.4	(敬老の日)
17	火	14.4	中秋の名月
18	水	15.4	満月
19	木	16.4	
20	金	17.4	
21	土	18.4	海王星が衝
22	日	19.4	(秋分の日)
23	月	20.4	(振替休日)
24	火	21.4	
25	水	22.4	下弦の月
26	木	23.4	
27	金	24.4	
28	土	25.4	紫金山・アトラス彗星が近日点通過
29	日	26.4	
30	月	27.4	水星が外合

17日 中秋の名月
旧暦8月15日の月は「中秋の名月」と呼ばれ、お月見をします。今年は17日の満月1日前の月です。

23日 秋分の日
天文学では「秋分日」といいます。太陽の通り道の黄道と天の赤道が交わる2点のうち、片方の「秋分点」の上を太陽が通過する瞬間が「秋分」です。秋分日には、太陽が真東から昇り、真西に沈みます。昼と夜の長さがほぼ等しくなります。